

氏名：杉山葵

所属：静岡県立大学食品栄養科学部環境生命科学科 4年

出身：静岡県裾野市

趣味：読書、ドラマ鑑賞

研究について

「太陽光パネルによる日射量の変化」

2013年3月から、農林水産省によって農地に支柱を立てて上部空間に太陽光発電設備を設置し、太陽光を農業生産と発電とで共有する「営農型太陽光発電」という農地転用が認められました。農家にとって、作物の販売収入に加えて、売電収入や電力の自家利用などが加わることで、安定した収入、農業経営のさらなる規模拡大が期待できます。しかし、農林水産省の規定では、生産量の確保、農作物の品質に著しい劣化が生じないことなどが、条件となっています。そのため、営農型太陽光発電の普及には、適切なパネル密度や、パネル密度と栽培作目の組み合わせについてのデータが必要になります。

私は、太陽光パネルの設置によって生じる影の影響に注目して研究しています。太陽光パネルの大きさ、間隔、高さを変えた場合に、どのように日射量が変わるのかを確かめています。今後は、傾斜地の場合や近隣への影響についても検討したいと考えています。



引用文献 営農型太陽光発電について：農林水産省

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/renewable/energy/einou.html#03>